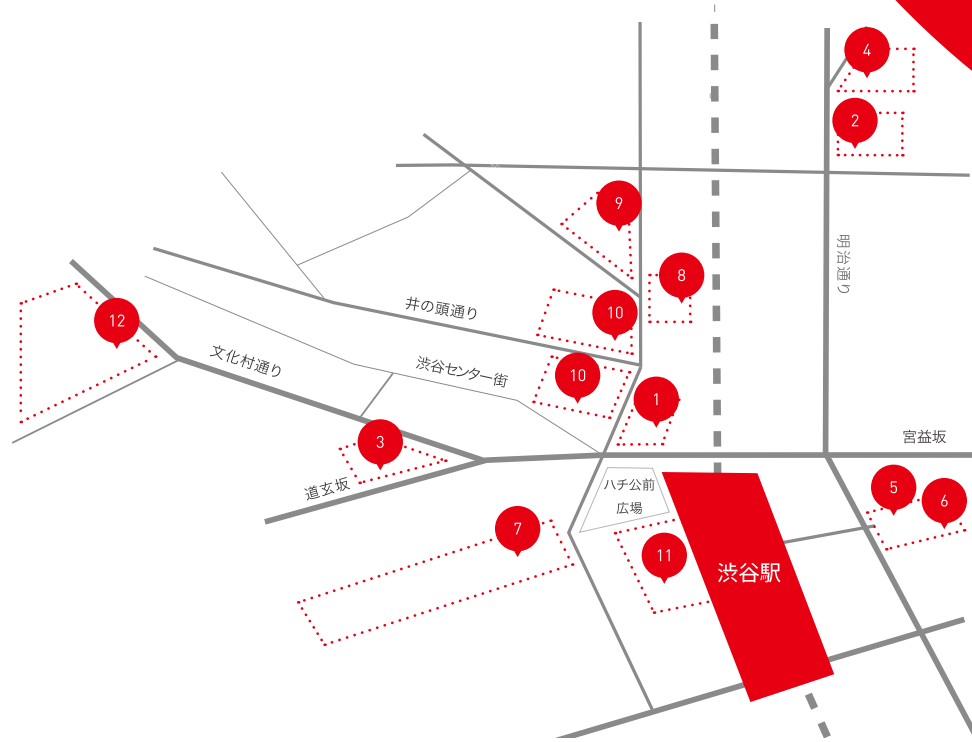


SHIBUYA FASHION WEEK STOREMAP



SHIBUYA FASHION WEEK

私らしい、を見つけよう。

2018
3.15_{THU} - 3.25_{SUN}

★ STORE	📍 ADDRESS	☎ TELEPHONE	🌐 WEB SITE
1 IOQ MEN'S	渋谷区神南 1-23-10	03-3477-5111 (代表)	http://www.shibuya109.jp/109MENS/
2 cocoti SHIBUYA	渋谷区渋谷 1-23-16	03-5774-0124 (代表)	http://www.cocoti.net/
3 SHIBUYA 109	渋谷区道玄坂 2-29-1	03-3477-5111 (代表)	http://www.shibuya109.jp
4 SHIBUYA CAST.	渋谷区渋谷 1-23-21	03-6690-3666 (代表)	http://shibuyacast.jp/
5 Hikarie	渋谷区渋谷 2-21-1	03-5468-5892 (代表)	http://www.hikarie.jp/
6 ShinQs	渋谷区渋谷 2-21-1	03-3461-1090 (代表)	https://shinqs.jp
7 SHIBUYA MARK CITY 渋谷マークシティ	渋谷区道玄坂 1-12-1	03-3780-6503 (代表)	http://www.s-markcity.co.jp
8 OIOI 渋谷マルイ	渋谷区神南 1-22-6	03-3464-0101 (代表)	https://www.0101.co.jp/013/
9 MODI OIOI MARUI GROUP	渋谷区神南 1-21-3	03-4336-0101 (代表)	http://shibuya.m-modi.jp/
10 SEIBU 西武 渋谷	渋谷区宇田川町 21-1	03-3462-0111 (代表)	https://www.sogo-seibu.jp/shibuya/
11 東急東横店 TOKYU	渋谷区渋谷 2-24-1	03-3477-3111 (代表)	http://www.tokyu-dept.co.jp/toyoko
12 東急本店 TOKYU	渋谷区道玄坂 2-24-1	03-3477-3111 (代表)	http://www.tokyu-dept.co.jp/honten



公式facebookページもチェック!
渋谷ファッションウィーク



OFFICIAL QR CODE

詳しい情報は公式WEBをご覧ください
<http://www.shibuya-fw.com>



MADE
IN
SHIBUYA

ABOUT

SHIBUYA FASHION WEEK

それぞれ個性を競い合ってきた、渋谷を代表する百貨店やファッションビルが一堂に集い、ファッションを通じて渋谷の魅力をお届けするキャンペーン“渋谷ファッションウィーク”。

実は、パリやミラノと並ぶ世界5大コレクションのひとつ、Amazon Fashion Week TOKYOも、ここ渋谷で開催されています。日本を代表するファッション文化のトレンドを発信し続けてきたのが、ここ渋谷。

振り返ると、東急百貨店 東横店は先進的なターミナルデパートとして昭和初期に創業、渋谷のファッション文化の礎を築きました。

西武渋谷店は、パリやニューヨークコレクションのデザイナー、アート・カルチャーを紹介した先駆者。渋谷マルイやSHIBUYA109は日本のファッションブランドを世界に広め、渋谷発のトレンドを発信してきました。海外からもクールと言われるストリートファッションを生み出したのも、ここ渋谷。

だからこそ、日本で一番トレンドを身近に感じられる街・渋谷を皆さんに楽しんでもらいたい。時代の気分を感じてもらうこと、新しいセンスで生活に新鮮さを生み出すこと。私たちはそれがファッション文化だと考えています。

世界へ新しいファッション文化を発信し続ける街・渋谷が、「MADE IN SHIBUYA」をコンセプトに、「買う・見る・楽しむ」という様々な形のファッションに染まる11日間。また新たなトレンドが生まれる瞬間、その息吹を感じてください。

さあ、おしゃれをして渋谷に出かけよう。
そして、“私らしい、を見つけよう”。

参加店舗

109MEN'S、cocoti SHIBUYA、SHIBUYA109、渋谷キャスト、渋谷ヒカリエ、渋谷ヒカリエ ShinQs
渋谷マークシティ、渋谷マルイ、渋谷モディ、西武渋谷店、東急百貨店 東横店、東急百貨店 本店（※50音順）

主催

渋谷ファッションウィーク実行委員会

後援

渋谷区、東京商工会議所渋谷支部、一般財団法人渋谷区観光協会、渋谷区商店会連合会中央ブロック、大向地区町会連合会、氷川地区町会連合会
一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構、一般財団法人 日本ファッション協会、一般社団法人 日本アパレル・ファッション産業協会、一般社団法人日本メンズファッション協会

協賛

 東急グループ

協力

経済産業省、渋谷宮下町リアルティ株式会社、株式会社バルコ、学校法人文化学園文化ファッションインキュベーション、専門学校日本デザイナー学院、日本写真芸術専門学校
内閣府 特定非営利活動法人日本アーティストユニオン、株式会社READY TO FASHION、株式会社アミューズ、イッツ・コミュニケーションズ株式会社、株式会社アパレルウェブ、シブヤ経済新聞、渋谷のラジオ



「DC」「渋谷ジ」「ギャル」など、常に新しいムーブメントを発信し続ける街・渋谷。
多くの人々がなぜ、これほどまで渋谷に魅了されるのだろうか。
長きにわたり渋谷の街をウォッチし続けている3人のキーパーソンを迎え、
「渋谷のファッションカルチャー」をテーマに語り合ってもらった。



西 樹

高野 公三子

干場 義雅

シブヤ経済新聞編集長。みんなの経済新聞ネットワーク代表。大手PR会社を経て、1988年、花形商品研究所を設立。2000年4月、広域渋谷圏のビジネス&カルチャーニュースを配信する情報サイト「シブヤ経済新聞」を開設。以後、「みんなの経済新聞ネットワーク」として海外都市を含む120以上のエリアで各地のパートナーと展開中。JFNのラジオ番組「日本カワイイ計画。with みんなの経済新聞」コメンテーター。

(株)パルコ「ACROSS」編集長。パルコのファッション&カルチャーのシンクタンク「ACROSS」の代表。2017年、Google Culture Project「We Wear Culture」に参画。共著に「ファッションは語りはじめた～現代日本のファッション批評」(フィルムアート社)、「ジャパニーズデザイナー」(ダイヤモンド社)他。日本流行色協会トレンドカラー選考委員、文化学園大学講師。<http://www.web-across.com>

スタイルクリニック代表取締役社長。雑誌モデル、BEAMSで販売を経験後、出版業界へ。「LEON」「OCEANS」など数々の男性ファッション誌の編集者として活躍。現在は「FORZA STYLE」(講談社)のウェブマガジンの編集長として活躍するほか、ファッションディレクター、ラジオパーソナリティー、テレビリポーター、ブランドプロデューサーなど、メディアの枠を超えて活動の幅を広げる。「渋谷ファッションウィーク」のアンバサダーも務める。

“公園通りをはじめストリートの数が圧倒的に多い渋谷”

西:「渋谷ファッション」の変遷を80年代から簡単に教えていただけますか?

高野: アクロスでは1980年8月から毎月若者のファッションとカルチャーを考察する「定点観測」を行っていて、今年で38年目になります。80年代から流行を振り返ってみると、アイビー、プレッピー、ニュートラやハマトラ、竹の子、ニューウェーブとか。その後、雑誌カルチャーやアメリカカルチャーが入ってきて、88年ごろ、DCブームから渋谷ジに変わっていきましました。デザイナーのクリエーションを享受するという時代でしたね。

西: プレッピーとか懐かしい。こう振り返ると、80年代はファッションの動きがすごく激しかったですね。

高野: はい。60年代生まれの人たちが若者だった時代、彼・彼女らにとってファッションは自身を表現するアイデンティティーの一つでした。「新人類」と呼ばれた世代ですね。

その後は干場さんたちの世代「団塊ジュニア」になります。

西: 90年代ですね。干場さんが、渋谷に洋服を買いに来るようになったのは、いつ頃ですか?

干場: たぶん中学2、3年生の頃です。それこそビームスとか、バックドロップとかに買いに来ていました。その頃、ビームス渋谷というお店が電力館の後ろのあたりにありまして…。その後、僕はそこでバイトすることになるんですけど(笑)。

高野: ビームスの渋谷店で働いていらしたんですね。

干場: ええ、そうなんです(笑)。

西: 90年代のファッションのトレンドはどうでしたか?

高野: 90年前後はラルフローレンの「紺ブレ」にリーバイスの501を合わせるスタイルが流行りました。それ以前のブランドを「買って着る」という感覚から、「どう着るか」、ファッションが単なる消費と所有から、その人のセンスとかスタイリング、どう表現するかに

変わった時代でした。その後、インディーズ・デザイナーブームがやってきます。もともと原宿にはマンションメーカーといわれたように、若いデザイナーが輩出される環境がありましたが、この頃、原宿にある古い住宅の一角に小さいお店を構え、人気が出てきたブランドは渋谷の大手商業施設の中に店出したり、東京コレクションに参加するようになったり、パリコレに挑戦するブランドが出たり…とても面白い時代だったと思います。

干場: それが裏原宿につながっていく感じですかね。

西: 80年代と90年代の渋谷ファッションの違いは何ですか?

高野: 80年代ファッションのしくみを否定したというか、90年代は小資本のクリエーションがいろいろ出てきて、国内外を問わず、個と個で一気に発信が始まった時代。今はネットがありますが、当時は無かったので、個人があっちこっちアンダーグラウンドで動いていたと思います。それから、ファッションスナップ系の雑誌がたくさん出て来たのも、この時期です。西: 普通に道を歩いている人のファッションをお手本にするという、今までにないカルチャーですよね。編集者の立場からいえば、読者に響くスナップの舞台は、やはり渋谷だったのでしょうか?

干場: 生態系は違うかもしれませんが、東京なら渋谷、原宿がメインでしょう。中でも渋谷は公園通りをはじめ、圧倒的にストリートの数が多いですから。

高野: 確かに新宿は「ストリート」というイメージが湧かないです(笑)。

西: 渋谷は地形が複雑で起伏もあるし、各ストリートに名前が付いていて、頭の中でイメージしやすいということもあるのでしょう。



“予定調和ではない遊びや偶発的な出会いがないと面白くない”

西: 大規模な再開発が進む渋谷ですが、オフィス供給が増えて、2020年には(1日)数万人レベルで大人の人口が増えることになります。今後、渋谷は「若者の街」から「大人の街」へと変化していくことが予想されますが、渋谷のファッションにも変化や影響があると思いますか?

高野: 大人って誰? というのもありますが(笑)、そういう流れもあると思うのですが、私たちが定点観測をしていて感じるのは、母と娘、息子、父と娘など、組み合わせがかなり複合的になっていて、年齢軸だけでは語れなくなっていることです。「大人だから」とか「若いから」というのは、もうあまり関係ないのかなと思います。例えば、ある親子では、音楽にめちゃくちゃ詳しいお父さんと息子さんがiPodを共有しているんだそうです。子どもの頃から、とんでもない量と質の音楽の情報が与えられているわけです。そういうお子さんはかなりカルチャー偏差値が高い。「大人だから」「若いから」じゃなくて、センスや「好きなもの」「こだわり」のような多様性が、これからの渋谷には求められていくように思います。

西: その中で大型商業施設が担う役割についてはどうお考えですか?

高野: 近年、コモディティ化といわれていて、同じようなテナントが丸の内や新宿、六本木にもあるといわれていますが、よくよく見ると品ぞろえが違います。やはり、そういう個別具体的なお客さまに、きちんと対応していくことができる視点を持つことが大型商業施設の役割だし、お客さまもそういうところを細かく見えています。

西: ファッションもネットで調達できる時代になっています。それでも大勢の人たちがわざわざ渋谷にやって来るのは、どうしてでしょうか?

高野: 感度の高い子は先にネットで調べて、「これが渋谷にあるから」と探しにやって来る子も多いです。渋谷の街には、ひょっこり発見できるような余地がまだ残っているのかなと思います。

西: やっぱり、お店に行っても偶発的な出会いがないと面白くないですよね。ネットだと目的の通りの商品を探して、それをただ機械的に買うだけになっちゃいますから。

干場: あと、わかりやすいとは絶対来ないと思います。どこか遊びの部分がったり、甘さがあったりなど、予定調和じゃないところがあった方が絶対面白い。再開発で街が整理されていくのはいいのですが、一方で少し危うい部分とか、裏の部分とか、そういうところも渋谷には残しておいてほしいなと…。



西: 最近の渋谷ファッションの特徴はありますか?
高野: 最近「若い子が雑誌を読まない」と言われていますが、意外に読んでいて。しかも今売られている雑誌に限らず、古本屋さんで昔の「オリーブ」などを買ってきて、そのファッションページに載っている洋服を古着屋さんで探してコーディネートしたりとか…。

干場: めちゃくちゃややこしい(笑)。なんだか、ものすごく時代がワープしている感じがします。

高野: 親御さんの影響も強いのだと思うのですが、今の若者はファッション偏差値が非常に高い子が少なくありません。最初からお店で売っている商品

だけではなく、お父さんのものやお母さんのものも含めて、いろいろなものを全部フラットに交えて着ています。「スーパーミックス」は、パリコレだけではありません(笑)。

西: 個人の編集力がすごく高まっているのでしょうか。干場さんの若い頃はいかがでしたか?

干場: 質を捉える能力は、ある程度知識があって身に付くところがあります。その点、僕が若い頃は、知識がない中で感覚だけで「あれとこれ」みたいにミックスしていたので、当時の自分のコーディネート今振り返ってみると、斬新ではあるんですけど、正直とても恥ずかしかったりもします(笑)。「スーパーミックス」というと、いかにも東京らしい言葉ですが……。結局はデタラメな部分もいっぱいあるんですよ。ミラノやパリなどでの海外取材の機会が増えて外から日本を見てみると、今まで自分が良いと思っていたものが本当は的外れなんじゃないかと悩んじゃって……。渋谷ジが流行ったときも、もちろん、すべてをわかって買い付けされていた方もいらっしゃると思いますが……。いろいろなショップの人たちのなかには、外国のクラス階級社会を理解しないまま、ごちゃまぜに買い付けて

きたりしていた部分もあると思うんです。例えば、クラシックなブランドの中に、突然、ワークブランド、ミリタリーウェア、スポーツブランド、スニーカー、そこにハイブランドやラグジュアリーブランド、インディアンジュエリーを交ぜちゃったりとか……。海外から見ると「えっ、それありなの?」みたいなの。

西: 僕はそれを鵜呑みして買っていましたけど(笑)。

干場: 女子高生たちがバーバリーを巻いて、紺のブレザーに、シェットランドのセーターや軍パン、ジーンズを着たり、ルイ・ヴィトン持って、でもアメリカのルーズソックスを履いて、首元にインディアンジュエリーしちゃうみたいな……。そのクラス社会を全く無視しためちゃくちゃな感覚が、ある時フラットになった瞬間に「東京っぽさ」「渋谷っぽさ」になったんじゃないかと。

西: クラス階級という概念が日本ではありませんからね。

高野: 欧米に限らず、アジアの都市部の若者の大半はファストファッション。超お金持ちやクラスのある若い子はスポーツ系やラグジュアリーブランドを着ていたりしますが、日本はだいたいミックス。特に渋谷はミックス感が強いかなと思います。

干場: それだけ生息している人たちのジャンルが広いのでしょう。ストリートも多いし。女子高生、女子大生、学生はもちろん、音楽好きがいれば、DJやクラブボーイもいる。百貨店で働いている人もいれば、ラグジュアリーブランドの人もいるし、当然、オジサンなどもいて、生息している人がミックスされている。めちゃくちゃ面白い、そんな街は他にはありません。

高野: 確かにないですね。

西: つまり、渋谷はいろいろな多様な人々が居られる場所なのではないでしょうか?

高野: 企業に勤めている人もいるけど、フリーランスの人、インディペンデントで仕事をしている人たちや、外国人もたくさんいます。エスタブリッシュされたものが好きというよりも、カルチャークリエイティブなものが好きという人が多く集まっていて、渋谷はそちら方面に多様だと思えます。

干場: あともう一つ、原宿と圧倒的に違うのは、飲食店の数が半端ないということですね。女子高生や女子大生とかだけではなく、社会人でもおじさん、それこそマダムまで楽しめる。おそらく飲食店の数が多いことが、いろいろな人がやってくる要因なのでしょう。ニューヨークは「人種のるつぼ」といわれていますが、僕から見れば渋谷も多種多様な感じがします。ものすごくエネルギーがすごいですね。

百貨店など大型商業施設にしても、ネットで何が売っているのか全てわかってしまうよりも、来ないとわからない、行ってみたら「なんじゃ、こりゃ!」という驚きがあった方がいい。だって全て見えたら、つまらないじゃないですか。

西: ネットで見られるなら行かなくていい。渋谷はいつまでも、通り一遍でない街、予定調和でないことが起きる街であってほしいなと思います。若い子たちが渋谷に来て、固定概念が変換できるというですよね。最後に「渋谷のファッション」を一言でいえば何でしょうか?

高野: 「自由でいいんだよ」と肯定してあげられることかな。原宿だと、あまりにファッションというカテゴリーに偏っちゃうんだけど…。渋谷は音楽とか映画とか、テックとか、カルチャー・ミックスしたファッションが特徴です。うちのアルバイトの子の中にも、ファッションも好きだけど、バンドをやっていて、深夜サウンドスタジオで練習もしている。そういう表現もできる場所が多様なことなども含めて、渋谷はカルチャーやライフスタイル的なものも包括されている感じがします。それは丸の内とは違う。

西: 周辺のカルチャーとも混然一体となるのが渋谷なのでしょう。

高野: 「カルチャーをまとっているのが渋谷のファッション」ともいえるかな。

西: さすが、カッコイイ表現です。干場さんは「渋谷ファッション」をどう捉えていますか?

干場: 渋谷はこれまでのカルチャーを作ってきたと思います。そして、これから新しいカルチャーを生み出す「スーパーミックス型のアメーバシティ」という感じがしています。アメーバなので常に変容し続けていって、くっついたり離れたりして、次の新しいカルチャーを生み出していくんじゃないかという期待があるし、そう思いたいですね。先ほど、親子で何万曲という音楽を共有しているという話がありましたが、世代すら超えてしまうのが、これからの時代なのかなと改めて感じました。

西: そうですね。今までは若者とか大人とか「世代」によるマーケティングに頼っていたところがありましたが、これからの渋谷は、そういう年齢軸によらないファッションカルチャーが主流になっていくのかもしれないね。



7



2018年3月1日(木)～3月25日(日)

期間中、渋谷ファッションウィーク公式Instagramをフォローして、

「#mysfw」を付けて写真を投稿しよう!

最優秀受賞者に**10万円**分の商品券をプレゼントします!

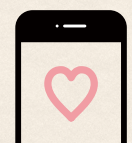
テーマ

ファッション・街・etc…あなたのお気に入りの「渋谷」

SHIBUYA
FASHION
WEEK

渋谷ファッションウィーク公式 @Instagram
shibuyafashionweek

STEP 1



SHIBUYA
FASHION
WEEK

公式アカウントをフォロー!

入賞のご連絡はDM(ダイレクトメッセージ)にて行います。
渋谷ファッションウィーク公式アカウント(shibuyafashionweek)をフォローしてください。

STEP 2



写真を撮影!

ファッション・街など
お気に入りの渋谷を撮影しよう!

STEP 3



#mysfw

ハッシュタグをつけて投稿!

「#mysfw」を必ずつけて
Instagramに投稿してください。

コンテストの詳細は渋谷ファッションウィーク公式WEBをご覧ください。

ストリートファッション情報サイト「Style-arena」は、
東京の「今」をお伝えしています!

language 日本 韓国 中国

www.style-arena.jp



Street Style

東京の人気5エリアを定点観測し、好きなブランドやショップなどのアンケート項目と共に毎日更新。おしゃれな先輩たちのアドバンストスタイルも随時更新

原宿

渋谷

表参道

代官山

銀座

Trend

服飾ファッションからヘア&メイク、グルメ、フラワー、様々なカルチャー、イベントにいたるまで、日本の生活文化全般のトレンドをお伝えします。



体験
EXPERIENCE

“NEXT,, MADE IN SHIBUYA

渋谷の街から日本のファッション業界に“次世代の風”を!

渋谷ファッションウィークでは、ファッション業界で飛躍を目指す学生を幅広く受け入れ、体験機会を提供しています。

取り組み
1



渋谷ファッションウィークにおけるイベント制作・PR業務のアシスタントを募集し、書類と面接の審査を経てインターンを採用。様々なミーティング参加、資料作成補助、渋谷ファッションウィーク公式WEB・SNS管理などを行い、渋谷ファッションウィークの事務局メンバーの一員として活動。また、SHIBUYA RUNWAY当日はプロのスタッフとともに運営業務を担当し、イベントの裏側を経験します。

READY TO FASHION

ファッション業界を志す若者を対象に、アルバイト、インターン、新卒についての求人やイベント情報を提供。ファッション業界を結集させ、若者に対して業界の魅力を伝えるプラットフォーム。

📍 <https://www.readytofashion.jp>

取り組み
2



全国の美容学生や美容師などを対象にヘアメイクアシスタントを募集。各校推薦のもと選ばれた学生はSHIBUYA RUNWAYのヘアメイククルーアシスタントとして参加します。

内閣府 特定非営利活動法人日本アーティストユニオン

広く一般市民に対してメイクアップの技術と知識の評価基準を策定し、教育及び各種情報提供等を行うことによって、メイクアップアーティストの職業としての認知や資質向上を図り、美容文化の発展に寄与することを目的として設立されました。

📍 <http://japan-au.jp>

取り組み
3



渋谷ファッションウィーク期間中、学生が撮影した写真をオフィシャルアカウントで連携しながらInstagramによるPR活動を実施。また、SHIBUYA RUNWAYではオフィシャルカメラマンチームとして、オフィシャル写真の撮影に参加します。

日本写真芸術専門学校

渋谷に生まれて52年目となる写真の専門学校。

プロの写真家、フォトグラファーを育成するカリキュラムを提供しています。

📍 <http://www.npi.ac.jp>

ファッションの祭典・Amazon Fashion Week TOKYO 2018 A/Wの開催に合わせて この春、新たな魅力満載の「渋谷ヒカリエ」をお楽しみください！

Shibuya
Hikarie

ShinQs

進化し続ける渋谷ヒカリエに、この春新たに注目のSHOPがOPENしました。



ザ・ノース・フェイス

ShinQs 4F

THE NORTH FACEのコレクションの中から、ランニング、トレーニングを中心とした新しいコンセプトショップです。メンズ・ウィメンズを取りそろえ快適なスポーツシーンをサポートいたします。

DANSKIN 
beautiful things

ダンスキン ビューティフル シングス

ShinQs 4F

「FOR THE ATHLETIC WOMAN」をコンセプトに、アクティブで美しくありたい全ての女性のためのスポーツライフスタイルウエアとして支持を得ている＜DANSKIN＞。その＜DANSKIN＞のアイテムを中心にラインナップしたライフスタイルセレクトショップがデビューしました。



MOTHERHOUSE

マザーハウス

ShinQs 4F

「途上国から世界に通用するブランドをつくる。」という理念のもと、その国にある素材や職人の技術を活かしたモノづくりをしているファッションブランドです。

渋谷ヒカリエ / ShinQs



ShinQs 10:00 - 21:00
Cafe & Restaurant 11:00 - 23:00
Cafe & Restaurant 7F 11:00 - 23:30
※日曜日のみ7Fも23:00まで
Creative Space 8/ 11:00 - 20:00
※一部店舗は23:00まで

Shibuya

Hikarie

ファッションの祭典・Amazon Fashion Week TOKYO (AFWT)とコラボレーションをし、
渋谷ヒカリエでは、お得なキャンペーンを開催！

Amazon Fashion Week TOKYO PARTNER CAFE & RESTAURANT

飲食店舗連携キャンペーン

3.19 MON - 3.24 SAT

実施期間中、Amazon Fashion Week TOKYO公式ガイドマップをご提示いただくと、渋谷ヒカリエのカフェ&レストランにて特別サービスを受けることができます。
(ワンドリンクサービス、お会計より10%OFF等)

※対象店舗の割引情報等は渋谷ヒカリエの
ホームページをご覧ください。

渋谷ヒカリエ <http://www.hikarie.jp/>



Amazon Fashion Week TOKYO とは



©Japan Fashion Week Organization

日本のファッションやクリエイション発信の強化、また、グローバル化を目的として、春と秋の年2回開催している国内最大級ファッションの祭典。

2018年秋冬シーズンは、3月19日(月)～24日(土)の期間に「渋谷ヒカリエ」をメイン会場とし、渋谷をはじめ表参道などファッションの街を中心に展開します。会期中は、日本を代表するデザイナーの新作コレクションを発表するショーの他、華やかなイベントが渋谷を中心としたさまざまな場所で開催されます。

<http://amazonfashionweektokyo.com/>

Amazon Fashion Week TOKYO 2018 A/W Key visual

- Theme -

The Sense of Wonder

どんなに世界が小さくなっていても決して失ってはいけないこの気持ち。未開の地はまだまざりとある。

Creative Director, Video Director: Yuichi Kodama(vivision) / Art Director: Ryo Teshima (KEI-KO TOKYO INC.) / Producers: Mamoru Inagaki(GEEK PICTURES) Hidehiko Ikemiya (GEEK PICTURES) / Production Manager: Mizuho Takei(GEEK PICTURES) / Photographer: Takeshi Hanzawa(GLASSLOFT) / Lighting Designer: HIGASHIY / Production Designer: Tateo Yanagimachi(GLASSLOFT) / Stylist: Shinichi Mita(KiKi inc.) / Hair & Make-up Artist: Tadashi Harada(SHISEIDO) / Designers: Jin Komeda(DESIGN BOY INC.) Saki Matsubara(DESIGN BOY INC.) Ryota Oshiro(DESIGN BOY INC.) / Photo Retoucher: Kazuya Kuriyama(CREATURE INC.) / Models(Male): ENDO(CENTRAL) / Models(Female): Rina Fukushi(IPSILON)

「Art meets Life」をストアコンセプトに掲げる西武渋谷店。

今回の「SHIBUYA CREATORS」では、オフィスをはじめ様々なシーンで輝く女性のアクティブでスタイリッシュな最新スタイルや、国内外の気鋭のクリエイターによる日本・渋谷のファッションやデザインをご提案いたします。



CoSTUME NATIONAL

コスチュームナショナル
2018年春夏新作販売会
箔コレクション

3.13 TUE - 3.26 MON

📍 B館3階 コンボラックス

昨シーズンからクリエイティブディレクターに江角泰俊氏、有働幸司氏を迎え、イタリアのDNAと日本のクリエイションを掛け合わせたグローバルブランドとして一新。西武渋谷店先行発売アイテムや最新コレクションをご紹介します。



有働 幸司 / Koji Udo

1971年熊本県生まれ。東京モード学園から1992年BEAMSに入社。その後イギリスをはじめヨーロッパを歴訪、2004年にFACTOTUMを立ち上げる。



江角 泰俊 / Yasutoshi Ezumi

1981年広島県生まれ。ロンドン・セントラルセントマーティンズ美術学校を卒業し、アレキサンダーマックイーンやアクアスキュータムでのキャリアを経験。2010年Yasutoshi Ezumiを立ち上げ。国内外での作品発表・受賞多数。

<有働 氏・江角氏 トークショー> 3.17 SAT PM4:00~ B館3階コンボラックス



AEVES

AEVES 2018 SPRING
SUMMER COLLECTION

3.13 TUE - 3.19 MON

📍 A館5階 モードプラス

今シーズンは、パリ16区にあるジャルダン・デ・ドトウイユという庭園からインスピレーションを得たコレクション。熱帯植物や花をモチーフにし、アエヴェスらしいカッティングと世界中から厳選した高級素材のミックスが特徴です。



古館 郁 / Iku Furudate

文化服装学院とロンドン・セントラル・セント・マーチンズでファッションを学ぶ。2005年パリでCOMMUN(コムーン)を設立。2007年フランスのアンダム賞受賞。2015年アエヴェスのクリエイティブディレクターに就任。



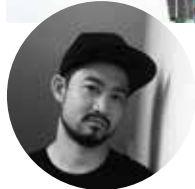
TAAKK

TAAKK
2018 SPRING/SUMMER
COLLECTION
「OPEN YOUR EYES」

3.13 TUE - 3.19 MON

📍 B館5階 プロモーションスペース

表面的でキャッチーで、SNSを意識したものではなく、服を作る上で本当にこだわって表現すること。テキスタイル、デザイン、細部の刺繍などを生かし、服としての魅力を詰め込んだコレクションです。



森川 拓野 / TAKUYA MORIKAWA

文化服装学院卒業後、(株)イッセイミヤケ入社。ISSEY MIYAKE / ISSEY MIYAKE MEN バリコレクションの企画デザイン担当を経て独立。2012年、森川デザイン事務所設立。自身のブランドTAAKKを立ち上げる。



TARO HORIUCHI

タロウ ホリウチ
「MOVEMENT」

3.20 TUE - 3.26 MON

📍 A館3階 キートゥーススタイル

デザイナー堀内太郎が10代の頃から転々としてきた都市と都市。そのさまざまな都市で得た異なった価値観や感覚。そのどれもが彼を構成し、またどの都市からも構成されていない、そんな人生の旅(MOVEMENT)をテーマしたコレクション。



堀内 太郎 / TARO HORIUCHI

1982生、15歳で渡英。2002年ロンドン・キングストン大学にて写真を専攻。2003年アントワープ王立芸術アカデミーに入学、2007年には同校を首席卒業。同年、イタリア・コンペティションITSにてディーゼル賞受賞。2008年渡仏後、2010年TARO HORIUCHIを立ち上げる。2012年第30回毎日ファッション大賞新人賞・資生堂奨励賞受賞。

FLY ME TO THE BEACH!

渋谷最大級のビーチスタイルセレクトショップ「三愛水着楽園」

9.24 MON まで

📍 モヴィーダ館 7F(公園通り 無印良品の上)

西武渋谷店



[月・土] 10:00 - 21:00
[日・祝] 10:00 - 20:00

「すべてのお客さまと共に Diversity&Inclusion」

渋谷マルイ・渋谷モディで“自分らしいファッション”を見つけよう!!

すべてのお客さまと共に

Diversity & Inclusion

年齢・性別・身体的特徴などを超えて
すべてのお客さまに楽しんでいただける
商品・サービス・店舗の
フロントランナーをめざします。



両館で「しぶやレインボー宣言」を申請!

渋谷マルイ・モディは11/29より渋谷区で始まった「しぶやレインボー宣言」を申請し、両館同時掲出しています。渋谷店では働くスタッフへのLGBT研修やダイバーシティ&インクルージョンを目指した取り組みを行っています。LGBTのお客さまはもちろん、すべてのお客さまが安心して暮らし・働ける街づくり推進の一歩として渋谷マルイ・モディは“すべてのお客さま”が安心して買い物できる施設を目指します。



自分らしい靴に出会える
「マルイのシューズ」

📍 渋谷マルイ 2F

お客さまと一緒に作った「ラクチンきれいシューズ」を展開しております。履き心地の良さにこだわり、また19.5~27.0cm(一部20.5~26.0cm)の幅広いサイズ展開が、今までサイズが合わなくてお悩みのお客さまや、パンプスを履きたいけど諦めていたお客さまにもご支持いただいています。すべてのお客さま、1人ひとりに合った“ピッタリ”のご提案をいたします。

渋谷マルイ



平日 11:00 - 21:00
日曜祝日 11:00 - 20:30

渋谷モディ



11:00 - 21:00 ※一部店舗により異なります。 8F...11:00 - 翌5:00
B1~4F...11:00 - 21:00 ※一部店舗により異なります。 9F...11:00 - 23:30
5F~7F...10:00 - 22:00 ※一部店舗により異なります。 ※一部店舗により異なります。

SHIBUYA MARK CITY 渋谷マークシティ

「渋谷マークシティ」のグルメ情報満載!!

「ELLE gourmet×SHIBUYA MARK CITY」2018年 春号を発刊

“食をとりまくライフスタイルの提案”を行っているELLE gourmet独自の視点で渋谷マークシティのグルメをフォトジェニックな写真とともに紹介し、食のトレンドを発信しています。

「渋谷マークシティ」のグルメ情報満載!!

「ELLE gourmet×SHIBUYA MARK CITY」2018年 春号は、「仲間と楽しむパーティー」をテーマに、みんなで集まって、“シェア”して食べたい大皿料理や、鍋料理を紹介。大皿料理メニューが並ぶテーブルは、思わず写真を撮りたくなること間違いなし! また、食卓が華やぐ食器類も合わせてご紹介。



スクラッチキャンペーン!!

2.15 THU - 3.31 SAT

2月15日(木)~3月31日(土)の期間中、渋谷マークシティ内の飲食店をお得に楽しめる「スクラッチキャンペーン」を実施しますので、是非ご利用ください。

(※一部店舗除く)

渋谷マークシティ



[物販店] 10:00 - 21:00
[飲食店] 11:00 - 23:00
※店舗により異なります。

"わざわざSHIBUYAに来たくなる"、"わざわざ東横店に来たくなる"をコンセプトに
「東急百貨店 東横店」だけで買える、楽しめる、商品やイベントを展開。
「SHIBUYA FASHION WEEK」とともに「SHIBUYA」の魅力を発信します。



W switch by Wacoal

〈期間限定出店〉

3.8 THU - 3.21 WED

📍 西館1階 SHIBUYAスクランブル
I POP UPステージ A

オンモードとオフモードの2つの
スイッチを、どちらも使い分けて差
をつける、女子カプラスアイテムを
ご紹介いたします。
(最終日は18時閉場)
*商品はイメージです。

旅とコンバース by エースシューズ

3.8 THU - 3.21 WED

📍 西館1階 SHIBUYAスクランブル
I POP UPステージ B

コンバースの今季のテーマである
「旅」をキーワードに様々な機能
やカラー、素材を使用したシーズ
ンスポットアイテムを多数取り揃
え、「旅」のお供となる1足が見つ
かる期間限定SHOPがオープン
いたします。



POP-UP SHOP "Grandes Vacances" OPEN!

3.22 THU - 4.4 WED

📍 西館1階 SHIBUYAスクランブル
I POP UPステージ B

Maison de FLEURより夏の訪れが待ち
遠くなるアイテムを取り揃えた期間限定
POP-UP SHOP "Grandes Vacances"
がOPEN! 毎年大人気のフリルハンドルカ
ゴバッグの先行販売や、POP-UP SHOP
限定商品の発売、ONLINE SHOPのみで
展開しているクッションカバーやエプロン
などリビンググッズも取り揃えています。

また、¥7,000以上(税抜)お買い上げで、限定ギンガムチェックショッパーに入れて
お渡しいたします。※なくなり次第終了

東急百貨店 東横店



[店舗] 10:00 - 21:00
[西館9階 東急レストラン街(ダイニングダイニング)] 11:00 - 22:30(オーダーストップ22:00)
*この他にも一部営業時間が異なる売場がございます。詳しくはお問合せください。

春の新生活に向けたバラエティ豊かなZAKKAをご紹介します。



ブティック Saaya(サアヤ) 〈期間限定出店〉

3.15 THU - 3.21 WED

📍 1階 特設スペース

パリやインドのトップデザイナー達の洗練されコレクションを、ストールやバッグ、
オリジナルアクセサリーと共にトータルコーディネートをご紹介します。



フルトン 〈期間限定出店〉

3.15 THU ~

📍 5階 服飾小物売場

イギリスでトップシエアを誇り、
女王エリザベス2世陛下も御用達
のレイングッズメーカー。
Birdcageと呼ばれる鳥かご型が
特徴的です。
*写真はイメージです。



TENT 〈期間限定出店〉

3.22 THU - 3.28 WED

📍 1階 特設スペース

個性を表現する美しい色彩の上質なバッグ。
材料から生産まで、すべてハンドメイドで日本製。
防水で軽量、水洗いも可能。これらのこだわりをもとに、本当の意味での質の高さを
目指す「MADE IN JAPAN」日本らしい丁寧さと心地よさを追求するおしゃれ
アイテムです。
*写真はイメージです。



IRO-UTA彩詩

〈期間限定出店〉

3.22 THU - 3.28 WED

📍 1階 特設スペース

創業150年を迎える京都の
友禅染<三善工芸>の蔵に眠っ
ていた着物の図案を、新しい
感性で彩り美しいストールと
して蘇らせました。

BAHARI 〈期間限定出店〉

3.22 THU - 3.28 WED

📍 2階 特設スペース

ガルーシャ(エイ革)を使用した
レザーグッズをバリエーション
豊富にご用意しております。



アンバーパレス 〈期間限定出店〉

3.22 THU - 3.28 WED

📍 5階 特設スペース

あたたかみのある色彩、驚くほどの
軽さで古来より人々を魅了してきた
琥珀。そんな琥珀とビーズを組み合わ
せた繊細で遊び心あるアクセサリ
ブランドです。

東急百貨店 本店



[2階~6階] 10:00~19:00
[地下1階・1階] 10:00~20:00
[7階] 丸善&ジュンク堂書店 10:00~21:00
[8階] レストラン 11:00~22:30(オーダーストップ 21:45)
*この他にも一部営業時間が異なる売場がございます。詳しくはお問合せください。

TOKYU 憧れのデパートコスメをおトクにGET! DEPARTMENT STORE BEAUTY 学生応援! 春のビューティーフェア

いまだに学割 学割クーポン画面と、学生証のご提示で
「コスメ割引券300円分」×3枚、プレゼント!

学生のお友達と一緒に来ると、さらに1枚プレゼントいたします。

※ご本人の学生証に限りです。※コスメ割引券のお渡しは、お一人様最大5枚までとさせていただきます。

コスメ割引券は、各店化粧品売場にて、3,240円(税込)以上
お買い上げの際、本体価格から300円を割引いたします。
(本体価格3,000円ごとに1枚使用可)

- 配布期間：3月15日(木)~31日(土)
- 使用期間：3月15日(木)~31日(土)
- 対象店舗：渋谷駅・東横店/渋谷・本店
渋谷ヒカリエShinQs<シンクス>/吉祥寺店/たまプラーザ店

※一部、対象外ブランド・商品がございます。※学割クーポンの引き換場所、ホームページをご確認ください。

このほか!
学生応援企画を
盛りだくさんご用意!
みんなで
東急百貨店へGO!

学割クーポンは
こちらから
GET!





109MEN'S

SHIBUYA CAST.

春休みはSHIBUYA109 & 109MEN'Sに集合!

新しいクリエイティブ活動の拠点として開業した「渋谷キャスト」



超シブヤ祭

3.21 WED・祝 - 3.31 SAT

SHIBUYA109&109MEN'Sでは、春のお祭り「超シブヤ祭」を開催!
期間中はみんなでわいわい写真が取れるフォトスポットや、イベントやキャンペーン、「学割10%OFF」を実施。
春休みの思いで作りと、新生活に向けてのNEWアイテムをお得にGETできるチャンスです☆
(学割10%OFF 3月27日(火)~31日(土))



SHIBUYA109 6F リニューアルOPEN!

3.1 THU / 3.3 SAT

SHIBUYA109人気SHOPの「one way(3.1 THU)」と「w♥c(3.3 SAT)」がリニューアルOPEN!
その他、この春はPOP UP SHOPも続々OPENしますので最新情報をWEBでCHECKしてみてください。



one way



w♥c

cocoti
SHIBUYA

MADE TO RUN AWAY

3.10 SAT ~

3月10日より全国のディーゼルスストアでは、広告キャンペーン「MADE TO RUN AWAY」に連動したプロモーションがスタート。期間中、対象店舗ではお買上げ金額に応じた「エマーゼンシーキット」をプレゼント。
世の中の風潮を題材にしたディーゼルの広告キャンペーンを体感しよう。



cocoti SHIBUYA

11:30 - 21:00
*店舗により異なります。

渋谷で働く、遊ぶ、暮らす

大人のための商業施設cocoti SHIBUYA。
自分の楽しみ方を知り、自分のスタイルを持つ人々に魅力ある多彩な店舗がココチいいライフスタイルをご提案します。



FOX UMBRELLAS Order Fair

3.16 FRI - 3.25 SUN

トゥモロランド渋谷本店では、「FOX UMBRELLAS」のオーダー会を開催いたします。
イギリスで1868年に創業し、英国王室ご愛用の傘として支持され続ける「FOX UMBRELLAS」。

すべての工程が職人によるハンドメイドで作られています。オーダーでは55種類以上の生地の中から、1パネルずつ生地を変えてお選びいただける他、イニシャル入れや持ち手のデザインなど幅広くカスタマイズいただけます。雨の日のお洒落にはこだわりの傘を、是非この機会にオーダーください。



PULP
417 ÉDIFICE

PULP < 417 ÉDIFICE >

カルチャーやファッションを生み育ててきた東京・渋谷キャットストリートから、「New Generator Street Culture」をコンセプトに、新時代のTOKYO STREET STYLEを発信していきます。
メンズ/レディース、ユニセックスアイテムなどのウェアの他、雑誌や小物、スニーカーなど幅広いファッションアイテムを展開します。

渋谷キャスト

[PULP Deli&Cafe] 8:00 - 20:00 ※土日祝は10:00~
[PULP 417 ÉDIFICE] 11:00 - 20:00
[THE RIGOLETTO] 11:30 - 26:00 ※日・祝は~23:00
[東急ストア フードステーション] 7:00 - 23:00
[Are] 8:00 - 22:00
※多目的スペース・広場はイベントにより異なりますので
各イベント詳細ページをご覧ください。

渋谷ファッションウィーク期間中、街はファッションのイベントが盛りだくさん!

GALLERY
X
BY PARCO



TAKAMURADAISUKE写真展「OCCULT」

開場時間: 11時~20時
※最終日は18時閉場
入場: 無料

広告写真を中心にグラフィックアート、エディトリアルワーク、コマーシャルフィルムや自身の作品制作をおこなっている写真家TAKAMURADAISUKEの個展。

PERMINUTE / RYOTAMURAKAMI 18A/W COLLECTION SHOWROOM

PERMINUTE
RYOTAMURAKAMI

2018A/W COLLECTION
SHOWROOM

GALLERY X BY PARCO (渋谷区宇田川町13-17)
www.parco-art.com

SHIBUYA
FASHION
FESTIVAL

SHIBUYA FASHION FESTIVAL.13

渋谷の街を巻き込んだ一大ファッションイベント! 渋谷のショップが店内パーティーなどのスペシャルイベント、1日限定セールや限定アイテムなど、その日だけのオリジナル企画をご用意。参加ショップでお買い物ができるファッション手当も実施! いつもと違う渋谷の街を、まるごとお楽しみください!

www.shibuyafashionfestival.com

渋谷フォトミュージアムが あなたを渋谷の 旅人にする。

こんな渋谷、あつたんだ！渋谷タイムマシンの旅へ、ようこそ。



玉電、街、群衆…懐かしき一瞬から
再開発で変貌していく現在までを写真で綴る。
渋谷の歴史を残し、渋谷の魅力を発信。

渋谷フォトミュージアム **検索**
shibuyaphotomuseum.jp



「見入った」「新鮮」「感無量」「泣いた」…反響の声、続々の渋谷アーカイブ写真。

渋谷フォトミュージアム
SHIBUYA PHOTO MUSEUM

いいね👍を、よろしく。/

いいね!

FUTURE of Greater SHIBUYA — ACTIVITIES

10年後の渋谷の街には、
さまざまな舞台と、心地よい賑わいがある、
日々の空気の中であなたの想いがふくらみます。

イラストはイメージです

